

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 全体として、児童は落ち着いた学校生活を送ることができた。組織が効果的に機能し、職員一人一人が自分の役割を責任をもつとともに、役割以外の部分でも助け合い支え合いができた。 校内研究において、「学びをつなげる主体的な学習者の育成」に向けて、全教職員で取り組むことができた。しかし、各種調査の結果から見えてきた課題も多い。さらに、家庭学習も十分とは言えない。学校と家庭、毎時間の授業を「つなぐ」を意識し、授業力向上、学力向上に努めていくことが重要である。 生活事故、交通事故への対応は、常時危機意識をもってレベルアップしていく必要がある。未然防止に努め、児童の安全意識や危機回避能力を高めるとともに保護者、地域との連携を密にしなが、安心安全な学校運営に全職員一丸となって取り組んでい
----------------------	--

2 学校教育目標	ふるさとを愛し、共に学び、心豊かにたくましく生きる「仁比山っ子」の育成
-----------------	-------------------------------------

3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 学力向上（1）主体的な学習者の育成を目指して授業改善を推進し、確かな学力を身に付けさせる （2）学びの土台を作り、学びがつけられるような体制づくり、習慣作りに取り組む。 命と人権教育の推進・・・感性を育む読書指導、道徳教育の充実 ふるさとを愛する人づくり・・・「公」意識・規範意識の醸成、ふるさと自慢
-------------------	--

4 重点取組内容・成果指標 **中間評価** **5 最終評価**

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	中間評価		最終評価		
				進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	
●学力の向上	○学びをつなげる主体的な学習者の育成」を目指す校内研究の推進	○主体的な学習に関する意識調査で肯定的な回答をした児童・保護者が80%以上(授業研究部) ○自主学習に関する意識調査で肯定的な回答をした児童・保護者が80%以上(学習推進部)	・授業研究部を中心に、主体的な学習に向かうために算数科における学習指導方法の研究に取り組む。 ・学習推進部が発達段階や目的に応じた自主学習の方法や内容について提案を行い、保護者と連携して家庭学習の習慣化を図る。					・研究主任 ・学力向上CO
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「自分の学校が好き、楽しい」という児童の割合90%以上	・道徳や朝会、集会活動を中心に、豊かな心を身に付ける指導(愛校心に関する指導)を積極的に行う。 ・自分や友達の良い所や学校の魅力を考える授業を工夫して、自尊感を高めていく。					・心づくり部長
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめの防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対応等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上	・毎月「なかよしアンケート」を実施し、未然防止、早期発見、早期対応に努める。(話し合う時間を作る。) ・毎月、生徒指導、教育相談会議を行い、気になる児童について全職員で共通理解を図る。					・人権・同和教育担当 ・道徳教育推進リーダー
●健康・体づくり	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	○「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒90%以上 ○「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒90%以上	・教育活動全般を通して、「出番・役割・承認」運動に積極的に取り組むことで、子供たち一人一人の自己肯定感を高める。 ・道徳や他の教科等、神崎市「教育の日」週間で、自分の夢や将来の目標を意識できる教育活動を設定する。					・心づくり部長
	●「望ましい生活習慣の形成」	○手洗いの習慣化とハンカチの携帯率90%以上 ○「早寝早起き朝ごはん」に努めている児童80%以上	・月1度の生活朝会で「仁比山っ子のよい子」をもちとした決まりを周知徹底、評価することで児童の情操教育を行う。					・生徒指導主任
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	○児童の安全意識や危機回避能力の育成	○ヘルメットの着用率、防犯ブザーの携帯率100% ○交通事故・生活事故発生件数ゼロ	・衛生習慣の定着と意識向上をめざし、日常的に指導し、定期的な検査をする。 ・通信や学級指導などで規則正しい生活習慣の重要性について啓発する。 ・ヘルメットの着用や防犯ブザーの携帯推進について、通信等で保護者への啓発を図る。毎月チェックし、意識付け、指導を行う。 ・交通安全教室や学級で、自転車の乗り方や歩き方の指導を行う。 ・全校朝会や学級指導においてルールとマナーを周知させ、道具の適切な使い方、室内での過ごし方について継続的に指導し、安全確保に努める。					・安全教諭 ・安全教育主任
	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・業務の効率化を図るとともに、退勤時刻を設定(退勤時刻18:30)し、毎月の時間外勤務時間平均35時間以内を目指す。また、定時退勤日(金曜)を設定、確実に実施する。					・教頭
●特別支援教育の充実	○信頼される教職員としての意識の向上	○「コンプライアンス意識をもち、服務規律の保持・徹底に努めている」教職員100%	・「服務ゼロの日」を月1回設定し、服務規律の保持徹底について計画的に研修を行う。 ・危機管理マニュアルの見直しと報告・連絡・相談・確認の徹底、関係機関と連携する。					・教頭
	○個の特性に応じた指導・支援の充実	○日常的に児童の様子を細かく観察し、教師間で情報共有し、協議を行う。 ○校内研修を実施し、教師の専門性を高める。	・年2回、就学支援委員会を開き、支援・指導の現状や適切な就学先を確認する。 ・年3回研修を行い、児童の指導支援に生かす					・特別支援教育CO

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	中間評価		最終評価		
				進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	
○教職員の資質向上	○実践の共有、指導力の向上	○教職員の資質能力の向上に資する職員研修の実施	・実践力アップのためのミニ研修の実施 ・教職員研修における校内講師の推進 ・相互授業参観の実施					・教頭
○知的な学校づくり	○読書指導の充実 ○スキルタイムの充実による基礎基本の定着と認知力の向上	○「児童は、よく本を読んでいる、読書する習慣が身についている。」教職員90%以上。 ○「週3回のスキルタイムで力が付いた」児童90%以上。	・毎朝の朝読書の実施 ・毎週の読み聞かせの実施 ・週3回のスキルタイム(音読・計算・コグトレ)の実践					・学び部長

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
-----------------------	---